

雅楽演奏体験



今年も(宗)浦幌神社、町空手道連盟(馬場幸弘会長)、町空手道少年団(田頭保会長)共催による「和ごころ体験学習会」が浦幌神社社務所で行われた。この事業は、子供たちに日本の伝統文化を体験させ、日本人としての感性と豊かな心を養うために二年前に発足、茶道やそば打ちなどを行っている。今年の第一回目は、氏子会役員・三五四會・浦幌調剤薬局の協賛を頂き、北海道神社庁十勝支部雅楽(富樫延行会長)による雅楽演奏会を五月十一日に

和のこころ神社で体験学習

開催し、親子約八十名が参加、日本古来のオーケストラである雅楽の音色に聴き入った。今回は演奏の体験もあり、子供たちは緊張しながら雅楽器を手に取り、音が鳴ると目を輝かせて喜んでいた。ほとんどの方が雅楽の生演奏は初めてで親子で貴重な体験ができた。第二回は、道東ラーチ企業組合(澤口敏晴理事長)による箸づくり体験が十月二十五日に行われ、親子約四十名が参加した。澤口先生から森林について講話を頂き、親子で思い思いの箸を工作した。箸袋は好みの和紙千代紙の折紙で完成させた。お楽しみの昼食は作ったばかりの箸で北海道産のお米と豚汁を食べながら、茶道の先生より箸使いのマナーについても学んだ。普段当たり前に使っている箸の大切さや毎日食べるお米の有難さを改めて感じる事ができた。



箸づくり体験

見つめ直そう人生儀礼と年中行事



司 宗敬
宮 古 背

以前、少年院で収穫祭のご奉仕をした時に、院長先生から貴重なお話を頂いた。「少年院のほとんどの子どもは、人生儀礼や年中行事の経験が乏しく育っている。人生の節目や四季折々の行事を通じ心の豊かさを養ってもらいたい」という内容であった。人生儀礼は成長の節目の儀式で命名式、初宮参り、お食初め、七五三、成人式、結婚式、厄祓などの行事がある。また、年中行事は四季折々の行事で初詣、節分、雛祭、端午の節句、七夕、お盆、春秋のお彼岸、十五夜、大晦日などの行事がある。こ

れらは日本古来の伝統行事で、そのほとんどが神社やお寺や家庭を中心に行われてきた。家族の在り方が問われる昨今、これらの行事を今一度見つめ直す時期である。人生の節目を家族で祝福することで、自然に家族の存在を大切に感じることが出来る。また、年中行事を家族恒例の行事にすることで、普段離れている家族も一つに集まる習慣ができる。家族水いらずで過ごせる場が人生儀礼や年中行事にあると思う。日本人は毎日毎年の感謝の積み重ねを大切にし、これらの行事を今に伝えてきた。実を付ければ付ける程、頭を垂れる稲穂のような人になれるよう日々心がけたい。

乳神神社だより(水子神社について)

乳神神社は子宝安産の神様として道内各地より信仰を集めています。子宝安産を願う人の中には流産の経験者が少なくありません。流れた水子の御霊をお慰めし、ご守護して頂くためにお祀りされたのが水子神社です。今日も親心からなる子への祈りが捧げられています。

